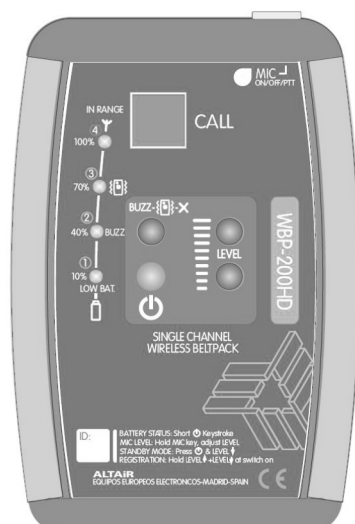


# WBP-200HD



## WB-200シリーズ ワイヤレスインターカム シングルチャンネル ワイヤレスベルトパック

# 取扱説明書



輸入販売・日本語取扱説明書製作

(株)スタジオイクイPMENT

〒154-0002 東京都世田谷区下馬5-2-10

TEL: 03-3795-3111 FAX: 03-3795-3353

<http://www.studioequipment.co.jp/>

Issue 13AUG17

Japanese Version Copyright  
Studio Equipment Corp. 2021

序章 .....	1
1. スイッチ類とコネクタ .....	2
フロントパネル .....	2
トップパネル .....	3
ボトムパネル .....	3
2. 使用上の注意 .....	3
3. 使用前の準備 .....	3
開梱する .....	3
4. 操作 .....	4
ベースステーションとリンクする .....	4
ヘッドセットの接続 .....	4
コールスイッチ .....	5
トークスイッチ .....	5
ブザー/バイブレーションスイッチ .....	6
ボリューム アップスイッチ、ダウンスイッチ .....	6
電源スイッチ .....	7
IN RANGE LED .....	7
スタンバイモード .....	7
マイクゲインの調整 .....	8
ヌル（サイドトーン）調整 .....	8
スイッチ操作音量の設定 .....	8
ベルトパックの登録 .....	9
本ユニットをベースステーションに登録する .....	9
登録に失敗した場合 .....	9
2台のベースステーションに登録する場合 .....	10
ベルトパックの登録解除 .....	10
登録されたベルトパックの一括解除 .....	10
リセットスイッチ .....	11
チャージャー接続用コネクタ .....	11
5. システム例 .....	12
6. 高度な設定 .....	14
ファンタム電源の設定 .....	14
ブザーロック .....	14
7. 推奨事項 .....	15
8. トラブルシューティング .....	16
9. ALTAIR WBPC-200バッテリーチャージャー .....	18
電圧の設定方法とヒューズ交換 .....	18
電源の接続 .....	19
ベルトパックの充電 .....	19
10. 機器仕様 .....	20
11. 保証規定 .....	21
当社ロゴマークまたは社名の貼付された廃棄製品の受け入れ .....	21

## 序章

ALTAIR WB-200シリーズ ワイヤレスインターカム、WBP-200HDシングルチャンネル ワイヤレスベルトパックをお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。

WBP-200HDには数々の特徴がありますが、いくつかを列記します。

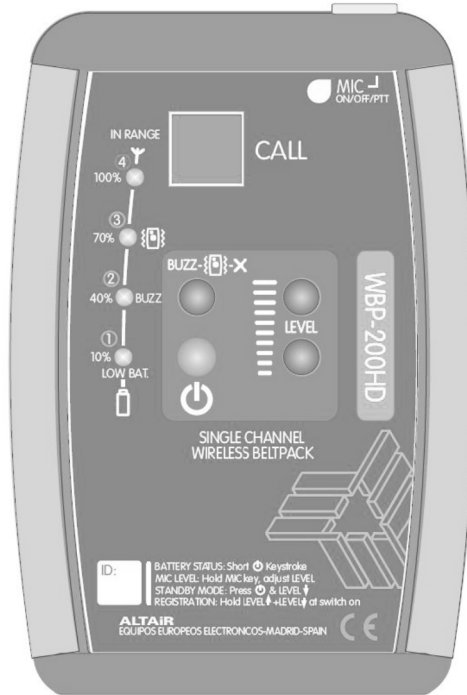
- デュアル プリアンプル ダイバーシティ アンテナシステムの採用により、通信のドロップアウトを最小限に抑え、より広い通信範囲をカバーすることができます。
- デジタル暗号化処理により、セキュリティの高い通信が可能です。
- アンテナ内蔵タイプで、ベルト掛けしたときに本体がかさばりにくい仕様になっています。
- 約9時間の連続送信が可能なバッテリーを内蔵しています。
- 内蔵バッテリーは長時間の使用に耐えるため、LEDインジケーターによるバッテリーの状態表示、バッテリー消費を抑える「スタンバイモード」をそなえ、メイン基板は低電力回路で設計されています。
- ベースステーションの電波範囲から外れた場合（圏外）など、IN RANGE LEDから本ユニットの状況を確認することができます。
- HDオーディオに対応しています。  
本ユニットは、HDオーディオフォーマットに対応したベースステーションを検出すると、自動的にHDオーディオの帯域幅に変更します。

システムの運用を開始する前に、本取扱説明書をよく読んでください。本取扱説明書には設定方法などの解説が記載されています。

「注」、「追記」、「危険」、「警告」の項目は、本ユニットを安全に運用するための重要な事項が記載されているので、注意深く読んでください。

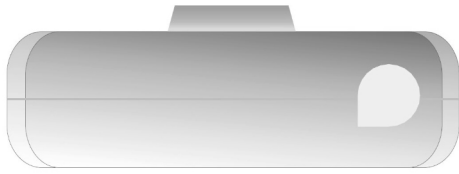
# 1. スイッチ類とコネクター

## フロントパネル



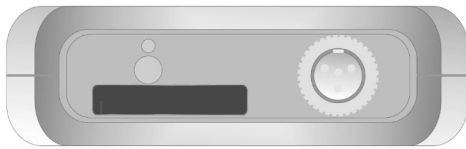
- |  |  |  |
|--|--|--|
|  | <p><b>LED 4</b><br/>IN RANGE 表示<br/>ベルトパック4からの<br/>コール信号受信時、点滅<br/>バッテリー残量表示(100%)</p> | <p>CALL コールスイッチ 兼<br/>コールLED</p>                         |
|  | <p><b>LED 3</b><br/>バイブレーション表示<br/>ベルトパック3からの<br/>コール信号受信時、点滅<br/>バッテリー残量表示(70%)</p>   | <p>BUZZ--X<br/>ブザー/<br/>バイブレーション<br/>スイッチ</p>            |
|  | <p><b>LED 2</b><br/>ブザー表示<br/>ベルトパック2からの<br/>コール信号受信時、点滅<br/>バッテリー残量表示(40%)</p>        | <p>電源スイッチ</p>  |
|  | <p><b>LED 1</b><br/>バッテリー残量警告表示<br/>ベルトパック1からの<br/>コール信号受信時、点滅<br/>バッテリー残量表示(10%)</p>  | <p>ボリュームアップ<br/>スイッチ<br/>LEVEL<br/>ボリュームダウン<br/>スイッチ</p> |

## トップパネル



トークスイッチ  
(オン/オフ/PTT)

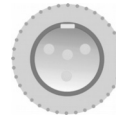
## ボトムパネル



リセットスイッチ



チャージャー接続用コネクタ



ヘッドセットコネクタ/  
TINY XLR 4ピンオス

## 2. 使用上の注意

- 保証期間外の故障や作業上の不注意でもたらされるダメージについては、製造者は責任を負いません。

**警告！** 雨や湿気から保護してください。

異物や液体が内部に浸入しないように心がけてください。

もし液体が内部に浸入した場合は、認定された修理技術者に相談してください。



- 高温になるところに置かないでください。

## 3. 使用前の準備

### 開梱する

すべてのユニットは、工場出荷時に慎重に検査されています。

開梱したら輸送時に何らかのダメージを受けていないかを点検してください。

もし何らかのダメージが見つかった場合は、使用せずにただちに販売担当者に御連絡ください。修理技術者が本体を点検します。

## 4. 操作

WB-200シリーズ ワイヤレスインターカムシステムは、双方向同時通信による素早いコミュニケーションが複数のエリアにまたがって要求される大規模コンサート、劇場、テレビ放送、大会議場などで、オペレーターにとって分かりやすい通話操作がおこなえるように設計されています。

WBP-200HDシングルチャンネルワイヤレスベルトパック（本ユニット）は、ポータブル運用に最適なように設計されています。

しなやかで壊れにくいプラスチック製のベルトクリップにより、簡単かつ確実に装着することができます。

コール信号は、LEDの点滅とブザー音、バイブレーションの3種類でユーザーに通知されます。

本ユニットは、ダイナミックマイクまたはエレクトレットコンデンサーマイク(ECM)用に設定することができます、他のメーカーのヘッドセットやハンズフリー イヤーピースなどを使用することもできます。

本ユニットには、コールスイッチ、トークスイッチ、ブザー/バイブレーション スイッチ、ヘッドフォンボリューム調整スイッチなどが用意されています。

### ベースステーションとリンクする

- 最初に、本ユニットが登録されているベースステーションの電源をオンにします。  
どのベースステーションにも登録されていない場合は、9ページの「ベルトパックの登録」を参照して、本ユニットをベースステーションに登録します。
- ベースステーションの電源をオンにしたら、本ユニットの電源スイッチを押して電源をオンにします。
- 本ユニットのすべてのLEDが短く点灯し、ブザー（ブザーがオンの場合）とバイブレーター（バイブレーションがオンの場合）が振動し、動作を開始します。
- 本ユニットが、登録されているベースステーションの電波範囲内（圏内）にある場合、IN RANGE LEDが点滅し始めます。  
この時点で、本ユニットがベースステーションとリンクされます。



本ユニットが電源オンになっていて、10分間ベースステーションにリンクされていない状態（ベースステーションの電源がオフになっていたり、圏外になっていたり、ユニットがどのベースステーションにも登録されていない状態）になると、バッテリーを節約するために自動的に電源がオフになります（自動電源オフ）。

### ヘッドセットの接続

本ユニットのヘッドセットコネクタは、TINY XLR 4ピン メスコネクタに対応しています。

ヘッドセットのマイクは、インピーダンス200 Ω以上（最大2 kΩ）のダイナミックマイクまたはECMを使用してください。

マイクがECMタイプの場合は、DC +9Vのファンタム電源をオン（有効）にする必要があります。

本ユニットのトークスイッチを押しながら、電源スイッチをワンプッシュすることで設定します。

詳細は、14ページの「6. 高度な設定」内の「ファンタム電源の設定」を参照してください。

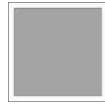
下記の表は、ヘッドセットコネクタのピン配列です。



ヘッドセット TINY XLR 4ピン オス	
PIN 1	0V (MICROPHONE)
PIN 2	SIGNAL (MICROPHONE)
PIN 3	0V (HEADPHONES)
PIN 4	SIGNAL (HEADPHONES)

**追記：**ダブルマフヘッドフォンを使用する場合、2つのスピーカーは内部で並列に配線されている必要があります。

## コールスイッチ



CALL

CALLスイッチが押されると、ワイヤレスベルトパックとベースステーションに接続されているインターカムチャンネルにコール信号が送信されます。

CALLスイッチが押されると、対応するインターカムチャンネルに接続している他のユニットと同じように、本ユニットのCALL LEDが3秒間点滅し、バイブレーションがオンになっている場合はバイブレーターが振動します。また、ブザーがオンになっている場合は、ブザー音が3秒間鳴ります。

バイブレーター、ブザーのオン/オフの設定は、6ページの「ブザー/バイブレーション スイッチ」を参照してください。

CALLスイッチを3秒以上押し続けた場合は、押している間中CALL LEDとブザー、バイブレーターが動作し続けます。

コール信号を他ユニットから続けて受信しているときも同様に、本ユニットのCALL LED、ブザー、バイブレーターが動作し続けます。

他のワイヤレスベルトパックからのコール信号を受信したときは、コール信号を送信しているベルトパックの登録番号を示すLED（1～4のいずれか）が点滅します。

ベースステーションから、またはベースステーションに接続された他のインターカムユニットからコール信号が送信された場合は、LED 1～4はすべて消灯します。

## トークスイッチ



トークスイッチでマイクのオン/オフをおこなうことにより、インターカムチャンネルに接続された他のインターカム機器と通話ができます。

トークスイッチは本ユニットのトップパネル上にありますので、本体をベルトに装着した状態で素早く操作できます。

マイクを使用していないときは、マイク周辺の不要なノイズをワイヤレスグループに送信するのを防ぐため、マイクをオフにすることをお勧めします。

マイクをオンにしたときはトークスイッチのLEDが点灯し、オフのときは消灯します。

トークスイッチには、2つのオペレーションモードがあります。

トークスイッチをワンブッシュするとスイッチにラッチがかかり、ハンズフリーモードになります。

もう一度ワンブッシュするとラッチは解除されてハンズフリーモードが終了し、送話が停止します。ハンズフリーモードになっている場合はトークスイッチが点灯し、解除されると消灯します。

トークスイッチを長押しすると、PTT（プッシュトゥーク）モードになり、スイッチを押している間だけ送話することができます。送話中はトークスイッチが点灯し、スイッチを離すと消灯します。

ベースステーションでリモートマイクミュートスイッチが押されると、接続されている有線インターカムとワイヤレスベルトパックのすべてのマイクがオフになります。

リモートマイクミュートスイッチが押された後、必要に応じてもう一度トークスイッチを押せばマイクは再びオンになります。

BUZZ---X

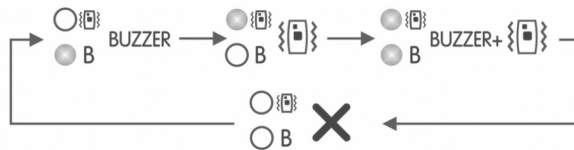


### ブザー/バイブレーション スイッチ

ブザー音とバイブレーションをオン/オフするスイッチです。

本ユニットにコールがあったときや、ユーザーがスイッチを操作したとき、または他の機能を使用したときにブザー音やバイブレーションで通知されます。

このスイッチを押すたびに下図のように動作が切り替わり、通知を4つのモード（上段左から、ブザーのみオン、バイブレーションのみオン、ブザー バイブレーションともにオン、ともにオフ）のいずれかを選択できます。



ブザーとバイブレーションには、それぞれの状態を表示するLED (2, 3)が付いています。

ALTAIRのベースステーションにはブザーミュート（ブザーをオフにする）システムが組み込まれているので、どのベルトパックでもブザーがオンになっている場合は、ベースステーションのリモートブザーミュート機能によってリモートでミュートすることができ、不用意にピープ音を鳴らしてしまうリスクを避けることができます。

ブザー/バイブレーション スイッチを3秒以上長押しすることで、ブザーをまったく無効（ブザー オフ）にすることができます。設定をおこなうとBUZZ LEDが間欠的に点滅します。

ブザー/バイブレーション スイッチをもう一度3秒以上長押しすると、再度ブザーがオンになります。

ブザーのオン/オフの設定はユニット本体に記憶されます。

**工場出荷時設定：**ブザー、バイブレーション ともにオフ



### ボリューム アップスイッチ、ダウンスイッチ

LEVEL アップスイッチ、ダウンスイッチは、ヘッドフォンのリスニングレベルを調節します。

他のスイッチと組み合わせて使用することで、マイクゲインやサイドトーンレベルなどの調整をおこなうことができます。

ボリュームは10段階で設定できます。

LEVEL アップスイッチ、ダウンスイッチを押すと、本ユニットのLED 1～4のいずれかが点灯してボリュームの設定値を表示します。

最も下に位置するLOW BAT. LEDは1段階目、BUZZ LEDは4段階目、VIBRATOR LEDは7段階目、IN RANGE LEDは10段階目の音量を示します。

ボリューム設定はユニット本体に記憶されます。

**工場出荷時設定：**最大から3段階下げ



## 電源スイッチ



本ユニットが電源オフの状態では電源スイッチを押すと、ユニットのすべてのLEDが点滅し、ブザーとバイブレーション（それぞれオンの場合）が動作開始を通知します。

登録されているベースステーションの圏内にあると、IN RANGE LEDが点滅し始めます。

この時点で、本ユニットの使用を開始することができます。



本ユニットを電源オフにするには、電源スイッチを2秒間押し続けます。ブザーがオンになっている場合は、短いビープ音で電源がオフになったことを通知します。

また本ユニットには、10分間圏外になるとユニットの電源が自動的にオフになる「自動電源オフ」が組み込まれています。

本ユニットが電源オンの状態で電源スイッチを短くワンプッシュすることで、本ユニットのバッテリー残量を確認できます。残量が10%未満だとLEDは点灯しません。

- 100% IN RANGE LED 点灯
- 70%~ VIBRATOR LED 点灯
- 40%~ BUZZ LED 点灯
- 10%~ LOW BAT. LED 点灯

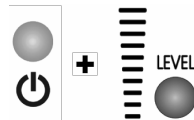
## IN RANGE LED



IN RANGE LEDが点滅しているときは、本ユニットがベースステーションの電波範囲内（圏内）にあることを示します。

IN RANGE LEDが常時点灯している場合は、本ユニットが圏外になっている、ベースステーションの電源がオフになっている、またはユニットがベースステーションに登録されていないなどの可能性が考えられます。

## スタンバイモード



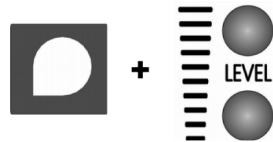
本ユニットが電源オンの時に電源スイッチとLEVELダウンスイッチを同時に押すと、スタンバイモードになります。

スタンバイモードでは、本ユニットはコール信号は受信できますが、音声はマイク/ヘッドフォンともに切断されます。このモードでは、マイクオンの状態と比べて消費電力が5分の1になりますので、バッテリーの消費を節約することができます。

スタンバイモード設定時はIN RANGE LEDのみを点滅させてモードを表示し、他のスイッチやLEDは動作しなくなります。

ベースステーションでは、スタンバイモード中のベルトパックの登録番号に対応するIN RANGE/CALL ID LEDが点滅を開始します。

スタンバイモードから抜けるには、電源スイッチを短くワンプッシュします。



### マイクゲインの調整

マイクゲインの調整をおこなうことで、インターカムシステム全体のレベルとマッチングすることができます。

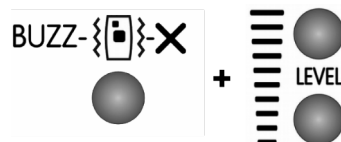
マイクゲインは16段階で調整可能です。

トークスイッチを押しながらLEVELアップスイッチ、ダウンスイッチを押してマイクゲインを調整します。LED 1~4のいずれかが点灯して、設定値を表示します。

最も下に位置するLOW BAT. LEDは1段階目、BUZZ LEDは6段階目、VIBRATOR LEDは11段階目、IN RANGE LEDは16段階目の音量を示します。

マイクゲインの設定はユニット本体に記憶されます。

**工場出荷時設定：**最大（ダイナミックマイクの使用を想定）



### ヌル（サイドトーン）調整

ヌル（サイドトーン）調整で、ヘッドフォンに返ってくる自分のマイク音量を調整します。

サイドトーンの設定は10段階で調整可能です。

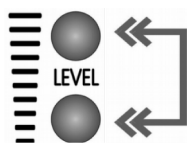
ブザー/バイブレーション スイッチを押しながら、LEVELアップスイッチ、ダウンスイッチでサイドトーンを調整します。LED 1~4のいずれかが点灯して、設定値を表示します。

最も下に位置するLOW BAT. LEDは1段階目、BUZZ LEDは4段階目、VIBRATOR LEDは7段階目、IN RANGE LEDは10段階目の音量を示します。

サイドトーンの設定はユニット本体に記憶されます。

使用しているヘッドセットのマイクがダイナミックマイクかECMかによって、設定を変更する必要があります。詳細は、14ページの「6. 高度な設定」内の「ファンタム電源の設定」を参照してください。

**工場出荷時設定：**最大から3段階下げ（ダイナミックマイクの使用を想定）



### スイッチ操作音量の設定

本ユニットはスイッチを押すたびに、ヘッドフォンにスイッチの操作確認のピーブ音を発します。

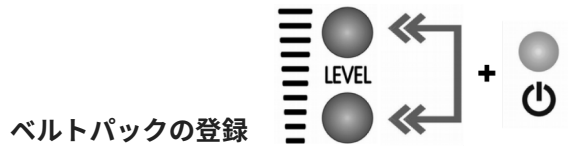
周囲の騒音や好みに応じて、ピーブ音量を調整したり、消したりすることができます。

そのためには、LEVELアップスイッチ、ダウンスイッチを同時に押して、ピーブ音量を3段階（ピーブ音大、ピーブ音小、ピーブ音キャンセル）から選択します。

ユニット本体から発せられるスイッチの操作音を消したい場合は、ブザー/バイブレーション スイッチでブザー オフに設定します。

調整した内容はユニット本体に記憶されます。

**工場出荷時設定：**ピーブ音 小



### ベルトパックの登録

ベースステーションに登録できるベルトパックの台数は、ベースステーションとベルトパックの組み合わせによって異なります。

WBS-200HDシングルチャンネル ベースステーションには、WBP-200HDシングルチャンネル ベルトパック（本ユニット）を4台まで登録することができます。

WBS-202HDデュアルチャンネル ベースステーションにWBP-200HDのみを登録する場合は、8台まで登録可能です。ただし、WBP-202HDデュアルチャンネル ベルトパックと混在させる場合は、WBP-202HDは2台まで、WBP-200HDは6台までになります。

### 本ユニットをベースステーションに登録する

登録作業はベースステーションの近くでおこなう必要があり、ベルトパックのバッテリー充電中はできません。

1. ベースステーションの電源をオンにして、REGISTERスイッチを4秒間長押しします。  
この時（ブザーがオンになっている場合は）ブザーが鳴り、REGISTERスイッチのLEDと新しいベルトパックの登録先に対応するIN RANGE/CALL ID (1~4) LEDが点滅します。

**注：**ベースステーションのベルトパック登録台数が上限に達している場合、ベースステーションのREGISTERスイッチを押してもLEDは点灯せず、新しいベルトパックを登録することはできません。詳しくは、各ベースステーションの取扱説明書を参照してください。

2. 登録したいベルトパック（本ユニット）の電源をオフにした状態で、LEVELアップスイッチ、ダウンスイッチを両方押したまま電源スイッチをワンプッシュすると、登録モードに入ります。
3. その後、（ブザーがオンになっていれば）ベースステーションとベルトパックのピープ音が鳴り、ベースステーションのIN RANGE/CALL ID LEDが点滅から点灯に、ベルトパックのIN RANGE LEDが素早い点滅からゆっくりとした点滅に変われば登録完了です。
4. ベルトパックまたはベースステーションのCALLスイッチを押して、登録が正常に完了したか確認してください。

### 登録に失敗した場合

ベルトパックの登録中にベースステーションのREGISTERスイッチを押すと、登録手続きがキャンセルされます。また、REGISTERスイッチ押下後、60秒間操作がなければ登録モードは終了します。

登録に失敗した場合は、ベースステーションとベルトパックの電源をオフにして、再度起動してからもう一度登録の手順を繰り返してください。

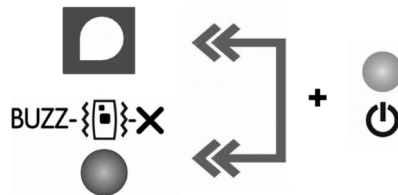
2台のベースステーションに登録をおこなう場合は、次ページを参照してください。

## 2台のベースステーションに登録する場合

各ベルトパックは2台の異なるベースステーションに登録することが可能です。

1台目のベースステーションの電波範囲から外れた場合（圏外）は、自動でもう1台のベースステーションに動作を変更します。2台目のベースステーションへのハンドオーバーにかかる時間は、5秒から15秒程度です。

1. 最初に、1台目のベースステーションに対して通常通りに登録をおこないます（前ページの「本ユニットをベースステーションに登録する」参照）。
2. 2台目のベースステーションに登録するために、1台目のベースステーションの電源をオフにします。次に2台目のベースステーションの電源をオンにし、REGISTERスイッチを長押しして登録モードにします。
3. 登録したいベルトパックの電源スイッチをオフにした状態で、LEVELアップスイッチ、ダウンスイッチ、ブザー/バイブレーションスイッチをすべて押しながら電源スイッチをワンプッシュして電源をオンにし、ベルトパックが登録モードに入りベースステーションに登録されるのを待ちます。
4. ベースステーションのIN RANGE/CALL ID LEDが点滅から点灯に変われば登録完了です。ベルトパックのIN RANGE LEDは素早い点滅からゆっくりとした点滅に変わり、ベースステーションとリンク中であることを示します。



### ベルトパックの登録解除

1. ベースステーションの電源をオンにします。
2. 登録を解除したいベルトパックの電源をオフにした状態で、トークスイッチとブザー/バイブレーションスイッチの両方を押しながら電源スイッチをワンプッシュして、ベルトパックの電源をオンにします。
3. このベルトパックに対応するベースステーションのIN RANGE/CALL ID LEDが点滅した後に消灯し、ベルトパックの登録が解除されます。

登録の解除に失敗した場合は、ベースステーションとベルトパックの電源をオフにしてから、もう一度手順を繰り返してください。

### 登録されたベルトパックの一括解除

1. ベースステーションのREGISTERスイッチを押しながら電源をオンにして、本ユニットのすべてのLED（REMOTE MUTES以外）が再度点灯するまでそのままREGISTERスイッチを約15秒ほど長押しします。
2. 点灯を確認したのちにベースステーションの電源をオフにすると、登録されているすべてのベルトパックの登録が解除されます。

**追記：**WBS-202HDの場合は、各無線グループごとの解除となります。

## リセットスイッチ

リセットスイッチは、本ユニットのボトムパネルのチャージャー接続用コネクタの上側にあります。本ユニットの異常動作時に使用することができます。

リセットスイッチを操作するときは、太さ1mm程度のピンをカチッと音がするまで挿入します。

**リセット操作をしても、ベースステーションへの登録が解除されることはありません。**ただし、ブザーやバイブレーションを含むその他の設定は出荷時設定にリセットされます。

## チャージャー接続用コネクタ

本ユニットの内蔵バッテリーは、チャージャー接続用コネクタ（極性はセンタープラス）にALTAIR WBPC-200バッテリーチャージャーを接続して充電する必要があります。

バッテリーの残量が減ってきたら、なるべく早めに充電をおこなうようにしてください。本ユニットは充電中も使用できます。

チャージャーが接続されているときは、ベルトパックのLED1~4でバッテリーの状態を表示します。フル充電になるとLED1~4が同時に点滅します。

充電時間はバッテリーを空にした状態で約4時間です。

この時間を過ぎると、チャージャーはトリクル充電（充電状態維持モード）を開始します。バッテリーをフル充電するには、この状態で最低1時間の充電をおこなってください。

フル充電したバッテリーの駆動時間は、動作環境によりませんが、トークスイッチがオンの状態では約9時間、スタンバイモードでは40時間です。

バッテリーは、2~4ヶ月程度で自然放電します。使用前には必ずバッテリーの状態を確認してください。

電源をオンにした後で、電源スイッチを短くワンプッシュするとバッテリーの残量が確認できます。詳細は、7ページの「電源スイッチ」を参照してください。

バッテリーは、使用環境に影響されますが、約500回の充放電を繰り返して使用することができます。

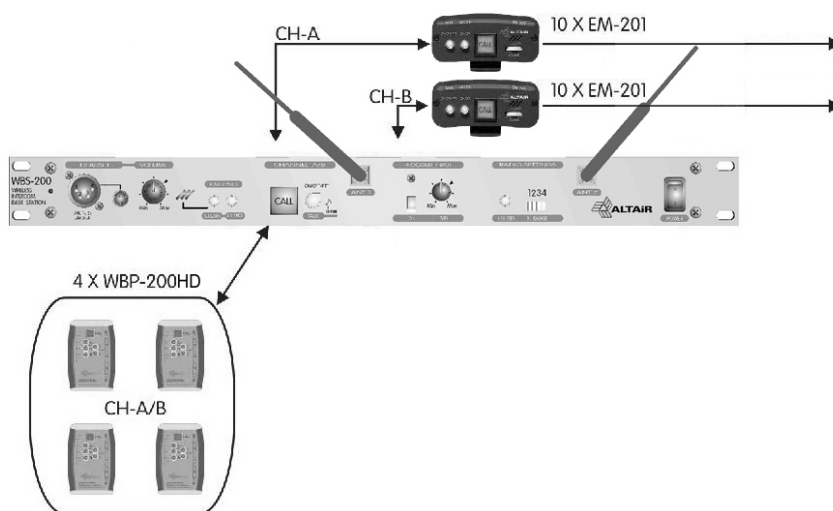
## 5. システム例

以下のシステム図は、WB-200シリーズワイヤレスインターカムの典型的なシステム構成を示しています。

1. WBS-200HDシングルチャンネル ベースステーションの場合、4台までのWBP-200HDシングルチャンネルベルトパックを登録できます。

下図では、インターカムラインのCH Aに4台のベルトパック(WBP-200HD)があり、ベースステーションはそれぞれのチャンネルの有線インターカムユニット(EM-201)にリンクして電源を供給します。

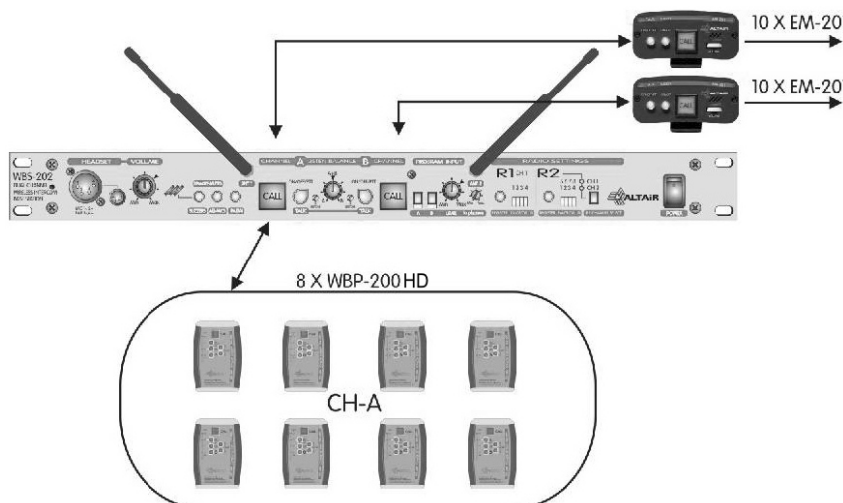
4台のベルトパックの通信先は、ベースステーションのチャンネルアサインスイッチでCH Bに切替えることができます。また、チャンネルリンクスイッチを利用して、両チャンネルをリンクさせることも可能です。



2. WBS-202HDデュアルチャンネル ベースステーションの場合、最大8台のWBP-200HDシングルチャンネルベルトパックを登録できます。

下図では、8台のベルトパック(WBP-200HD)がインターカムラインのCH Aにあり、ベースステーションはそれぞれのチャンネルの有線インターカムユニット(EM-201)にリンクして電源を供給します。

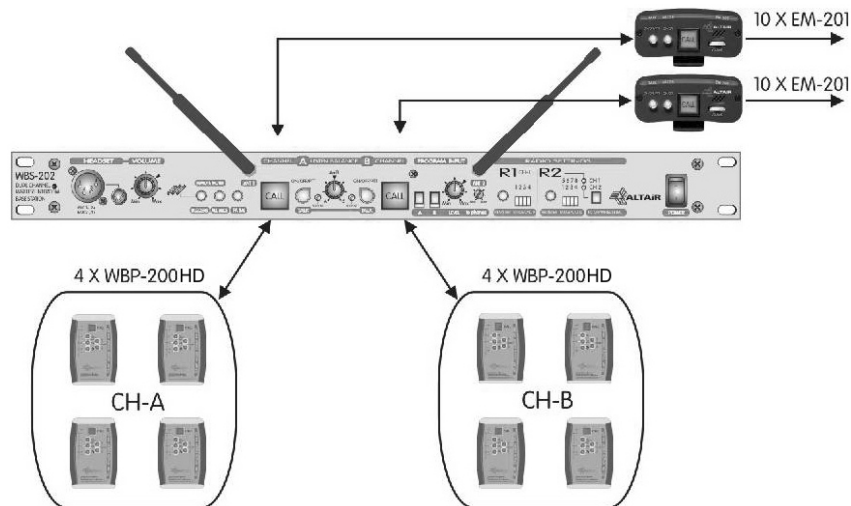
8台のベルトパックをCH Aで運用するには、ベースステーションのR2チャンネル選択スイッチでCH Aを選択して、無線グループを統合させる必要があります。



3. WBS-202HDデュアルチャンネル ベースステーションには、2つの無線グループ(R1, R2)に各4台までのWBP-200HDシングルチャンネル ベルトパックを登録できます。

下図では、ベースステーションの無線グループR1、R2に各4台のベルトパック(WBP-200HD)があり、それぞれCH A、CH Bにリンクされています。

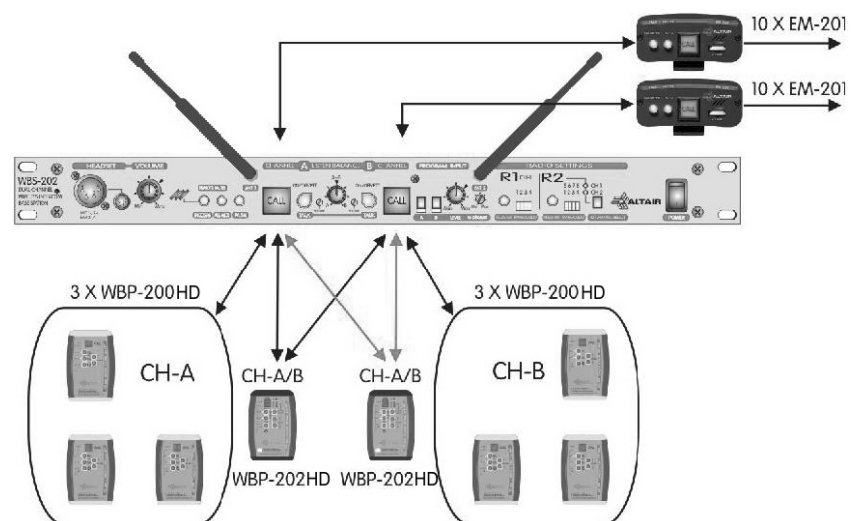
ベースステーションは両チャンネルの有線インターカムユニット(EM-201)に電源を供給します。



4. WBS-202HDデュアルチャンネル ベースステーションには、2つの無線グループ(R1, R2)に各1台のWBP-202HDデュアルチャンネル ベルトパックを登録でき、各グループ3台までのWBP-200HDシングルチャンネル ベルトパックと混在することが可能です。

下図では、デュアルチャンネル ベースステーションの無線グループR1、R2にそれぞれ1台のデュアルチャンネル ベルトパック(WBP-202HD)と、それぞれ3台のベルトパック(WBP-200HD)があります。

ベースステーションは、それぞれのチャンネルの有線インターカムユニット(EM-201)にリンクして電源を供給します。



5. 他に考えられる組み合わせは、WBS-202HDデュアルチャンネル ベースステーションのCH Aに3台、CH Bに4台のWBP-200HDシングルチャンネル ベルトパックをリンクし、CH A/Bのコーディネーター役として1台のWBP-202HDデュアルチャンネル ベルトパックを運用する方法です。

このとき、WBP-202HDの登録先は無線グループR1になります。

## 6. 高度な設定

### ファンタム電源の設定 HOLD +

マイクのファンタム電源は、設定でオンまたはオフにすることができます。

この設定には本ユニットのスイッチを利用しますので、ユニットのケースを開ける必要はありません。

設定をおこなうには、本ユニットが電源オンの状態で、トークスイッチを押しながら電源スイッチをワンプッシュします。長いビープ音が鳴ればファンタム電源 オン、短いビープ音が鳴ればファンタム電源 オフです。

この設定は、ビープ音が確認できるようブザー オンにしてからおこなってください。

ECMを使用する場合はファンタム電源をオンに、ダイナミックマイクを使用する場合はファンタム電源をオフにする必要があります。マイクのファンタム電源電圧はDC +9Vです。

ECMを使用する場合の推奨マイクゲインは、最大から10段階下げです。

サイドトーンの場合、推奨される設定は最大から4段階下げです。

設定の詳細は、8ページの「マイクゲインの調整」「ヌル（サイドトーン）調整」を参照してください。

**工場出荷時設定：** ファンタム電源 オフ（ダイナミックマイク仕様）

### ブザーロック HOLD

劇場の公演中など絶対にブザーを鳴らしたくないときなどのために、ブザー機能が使えないようロックすることができます。

ブザー/バイブレーションスイッチを3秒以上長押しして設定します。

この設定中にブザーをオンにしようとするするとBUZZ LEDが点滅して、ブザーロック中であることを示します。再度ブザー/バイブレーションスイッチを3秒以上長押しすれば、ロックを解除することができます。

この設定はユニット本体に記憶されます。

**工場出荷時設定：** ブザーロック 解除



## 7. 推奨事項

電波干渉などを避けるため、本ユニットを金属面や他の電子機器の近くに置かないでください。圏外になった場合は、本ユニットをなるべくベースステーションのほうに向けるようにしてください。

ベースステーションの周りにコンクリートの壁や他の吸収材がある場合は、配置に注意してください。

バッテリーは2～4ヶ月で自然放電するため、使用後は充電し、使用していなくてもこまめに充電することをお勧めします。

本ユニットを長期保管する場合は、ユニット本体からバッテリーを取り出してください。

## 8. トラブルシューティング

### • ベースステーションとのつながりが異常に悪い

- ベルトパックの電源をオンにしたまま、ベースステーションの電源をオフにします。30秒ほど待つてから再び電源をオンにして、ベースステーションとベルトパックを再リンクします。

### • ベルトパックの電源を入れても、ベースステーションとリンクしない

- ベルトパックがベースステーションに登録されていません。ベースステーションの登録に空きがある場合は、登録作業をおこなってください。
- 複数のベースステーションがある場合、このベルトパックが他のシステムに登録している可能性があります。
- ベースステーションやベルトパックが修理などから返ってきた場合、登録が消去されている可能性がありますので、再度登録し直す必要があります。  
「ベルトパックの登録」の詳細は9ページを参照してください。

### • 特定のエリアで通信が途切れる

- 可能であればベースステーションの位置を見通しの良い位置に変更してください。
- 指向性アンテナなどの活用を検討してください。また、まわりに強い電波を発する機器がないか確認してください。

### • ベルトパックの電源を入れてもすぐに切れてしまう

- 内蔵バッテリーが完全に放電しています。バッテリーの状態を確認し、充電してください。それでも改善しなかった場合、バッテリーターミナルの接触不良が考えられます。内蔵バッテリーを取り外してから端子を清掃し、接点が内側にくるように修復します。

### • ベルトパックの電源が勝手に切れる

- ベースステーションの電源がオフになっているか、電波範囲から外れて（圏外）います。IN RANGE LEDが常時点灯していないか確認してください。
- バッテリーの状態を確認してください。

### • ベルトパックの電源が切れない

- ベースステーションの電源をオフにしてから、ベルトパックの電源が自動でオフになるまで10分間待ってください。  
異常があって自動電源オフが動作していない場合は、ベルトパックの内蔵バッテリーを取り外し、再度挿入してベルトパック本体をリセットします。

### • バッテリーが充電されない

- 再度バッテリーチャージャーに接続し、2～3時間様子を見てください。それでも充電されない場合は、ベルトパック内部のバッテリーターミナルの接触不良、またはバッテリーの寿命が考えられます。

### • 充電中にもかかわらず、バッテリーチャージャーのLEDが緑色から変化しない

- バッテリーチャージャーのプラグの接点を確認してください。異常が見られない場合、別のプラグで試してみてください。  
また、チャージャーのLEDを確認しながら、別のベルトパックで充電してみてください。
- バッテリー残量が全くないと、チャージャーが充電を開始することができません。チャージャーに接続して10分ほど待ち、再度確認します。

**• 長期間使用していなかったベルトパックを充電しようとしたが充電が開始されない**

- 自然放電によりバッテリーの残量が全くない可能性があります。バッテリーチャージャーに接続し、10分ほど待ってから充電が開始されるか確認してください。

**• マイクまたはヘッドフォンの不具合**

- ボリュームまたはマイクゲインの設定を確認してください。
- 他のヘッドセットを接続して、ベルトパックを確認してみてください。  
ボリュームの設定は6ページの「ボリューム アップスイッチ、ダウンスイッチ」、マイクゲインの設定は8ページの「マイクゲインの調整」を参照してください。

**• マイクの不具合**

- ECMのヘッドセットを使用する場合は、ファンタム電源とマイクゲインの設定をおこなう必要があります。  
ファンタム電源の設定は14ページの「6. 高度な設定」内の「ファンタム電源の設定」、マイクゲインの設定は8ページの「マイクゲインの調整」を参照してください。

**• バイブレーションが働かない**

- ブザー/バイブレーション スイッチで、バイブレーションがオンになっているか確認してください。  
詳細は、6ページの「ブザー/バイブレーション スイッチ」を参照してください。

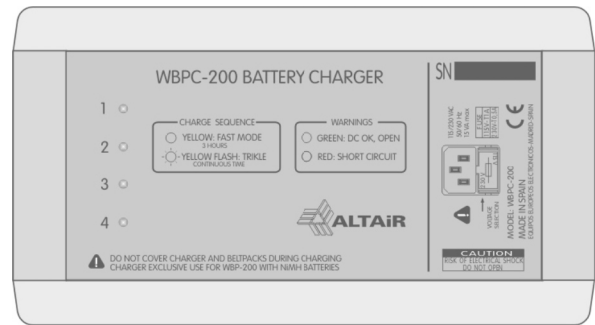
**• ブザーが働かない**

- ブザー/バイブレーション スイッチでバイブレーションがオンになっているか、またはブザーロックが働いていないか確認してください。  
バイブレーションの設定は、6ページの「ブザー/バイブレーション スイッチ」、「ブザーロック」の設定は14ページの「6. 高度な設定」内の「ブザーロック」を参照してください。
- ベースステーションのブザーミュート機能がオンになっていないか確認してください。

## 9. ALTAIR WBPC-200バッテリーチャージャー

WBPC-200バッテリーチャージャーは、WBP-200HD/ WBP-202HDワイヤレスベルトパックを最大4台まで同時に充電することができます。充電時間は、バッテリーが完全に放電した状態で約4時間です。

充電を始めて3～4時間が経過すると、チャージャーはトリクル充電（充電状態維持モード）を開始します。フル充電にするには、この状態で最低1時間の充電をお勧めします。

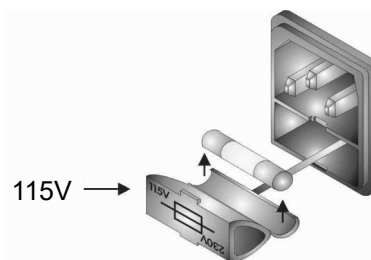


### 電圧の設定方法とヒューズ交換

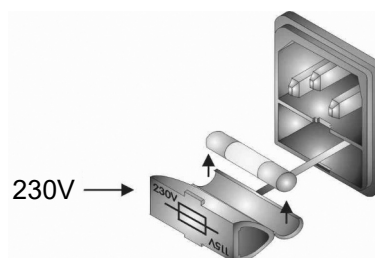
WBPC-200バッテリーチャージャーは、115 V (50/60 Hz)、または230 V (50/60 Hz)で動作するように設計されています。

1. バッテリーチャージャー本体から電源ケーブルを外してください。
2. チャージャーの本体側面にある電源コネクタには、電圧セレクター（ヒューズホルダー）が配置されています。マイナスドライバーなどを利用してヒューズホルダーを取り出します。
3. ヒューズのみを交換したい場合は、ヒューズを交換した後、ヒューズホルダーを回転させずにそのまま元の位置に差し込んでください。  
主電源電圧を変更したい場合は、ヒューズホルダーを回転させて、接続元の主電源電圧が反転せずに正しく読める位置になるようにしてください。

**115 V (100 V)の場合**  
ヒューズホルダーの左上に  
115 Vの表示が来るように差し込む



**230 Vの場合**  
ヒューズホルダーの左上に  
230 Vの表示が来るように差し込む



4. セットされているヒューズが電圧に合ったものであることを確認してください。

ヒューズ(100 V 50/60 Hz)	ヒューズ(230 V 50/60 Hz)
T250 mA	T160 mA

**追記：**ヒューズホルダーには予備のヒューズを入れておくことができます。

**危険！**ヒューズを交換する際には、必ずヒューズが主電源電圧に適したものであることを確認してください（100 VはT250 mA、230 VはT160 mA）。

## 電源の接続

電源の接続には必ず、同梱されているPSEマークの入っている日本仕様のケーブルをお使いください。

1. バッテリーチャージャーにベルトパックが接続されていないことを確認してください。
2. 電源ケーブルのULプラグを、チャージャーの本体側面の電源コネクタにしっかりと接続してください。
3. 電源ケーブルの平行2極プラグをコンセントに接続してください。
4. 電源スイッチを押して、電源をオンにします。  
LEDインジケーターが点灯したら、チャージャーの電源は正常に入っています。

**追記：**日本仕様の電源ケーブルは、感電防止のアースがない平行2極の電源プラグを使用しています。

電源ケーブルに付属しているアースは感電防止用であって、ノイズ対策用ではありません。

感電防止用のアースを接続すると、アンバランス接続の場合に電源のアースにも音声ラインの帰り（コールド側）が分流して流れていき、ノイズを拾う場合があります。

当社輸入の電気製品は1台1台漏電がないかを調べていますので、アースを接続せずに安心して使用することができます。

## ベルトパックの充電

WBPC-200バッテリーチャージャーは、最大4台のワイヤレスベルトパックを同時に充電することができます。

1. バッテリーチャージャーのコネクタのいずれかを取り、ワイヤレスベルトパックのチャージャー接続用コネクタに差し込んでください。
2. ベルトパックが接続されると、チャージャーのLEDが緑色から黄色（オレンジ）に変化し、ベルトパックのバッテリーが充電されていることを示します。  
ベルトパックが電源オフになっている場合は、ベルトパックのLED1~4が点滅し、バッテリーの充電状態を示します。ベルトパックが電源オンになっている場合は、通常通りにLEDが点灯します。
3. チャージャーが接続されてから3~4時間後にトリクル充電（充電状態維持モード）が開始され、ベルトパックに対応しているチャージャー側のLEDが緑と黄色（オレンジ）で交互に点灯します。  
フル充電にするには、この状態で最低1時間の充電をお勧めします。

充電に何らかの問題が発生した場合、ベルトパックに対応しているチャージャー側のLEDが赤色に点灯します。

## 10. 機器仕様

WBP-200HD 仕様		
ヘッドセットコネクタ	接続	TINY XLR 4ピン オス
マイクプリアンプ	適合マイクロフォン種別	ダイナミックマイク または ECM (エレクトレット コンデンサーマイク)
	入力インピーダンス	4.7 kΩ
	標準レベル	-45 dBu
	ECM ファンタム電圧	+9 VDC (内部設定)
ヘッドセットアンプ	適合スピーカーインピーダンス	200 Ω (標準) / 2 kΩ (最大)
	最大出力電圧	14 Vpp (200Ω)
	最大出力	200 mW (200Ω)
	周波数特性	250 Hz ~ 3.5 kHz / HD モード時 200 Hz ~ 7 kHz
無線モジュール	周波数帯域	1,895 MHz ~ 1,902 MHz
	変調方式	GFSK/TDMA
	送信出力	通常+22 dBm
	受信感度	通常-92 dBm
バッテリー	タイプ	ニッケル水素電池(1.2 V 1,000 mAh) x 3本
	バッテリー駆動時間	約9時間
	充電時間	最大3時間~4時間 (WBPC-200バッテリーチャージャー使用)
	対応チャージャー	WBPC-200バッテリーチャージャー
サイドトーン抑圧比		1 kHz時 -12 dB ~ 30 dBの間で可変
ブザー		90 dBA
コントロール類		コールスイッチ、ボリュームアップスイッチ、ボリュームダウンスイッチ、トークスイッチ、ブザー/バイブレーションスイッチ
LED表示		コール、バッテリーステータス、トーク オン/オフ、ブザー、バイブレーション、IN RANGE
コール通知		LED、バイブレーション、ブザー
動作保証温度		0°C ~ +45°C
サイズ		W 80 mm x H 120 mm x D 25 mm
重量		160 g

WBPC-200 仕様		
電源	電源電圧/周波数	115 VAC または 230 VAC、50/60 Hz
	最大消費電流	16 mA
	使用ヒューズ	100 V : T250 mA 250 V 230 V : T160 mA 250 V
サイズ		W 53 mm x H 158 mm x D 82 mm
重量		580 g

追記：技術仕様は、改善のため予告なく変更される場合があります。

## 11. 保証規定

この機器は、購入から1年以内の製造や材料の欠陥に対して、輸入代理店(株)スタジオ イクイPMENTが保証をおこなっています。

故障した場合は、販売店または(株)スタジオ イクイPMENTにご連絡ください。その場合は必ず製造番号を通知してください。

### 当社ロゴマークまたは社名の貼付された廃棄製品の受け入れ

(株)スタジオ イクイPMENTは当社が製造した機器、もしくは当社が輸入した機器のリサイクルシステムへの回収を受け付けております。

当社ロゴマークまたは社名が貼付された当社製造の製品、または当社が輸入した製品は送料をご負担のうえ、当社へご返送ください。当社が責任を持って環境に負荷を与えないよう、電子機器リサイクルシステムへ還元します。

